

フロムあらかわ No.17



景場平から東吾妻山を臨む



荒川砂防出張所からのお便りです。



荒川の登録有形文化財

今回は地蔵原堰堤をご紹介します。



平成20年10月 現在

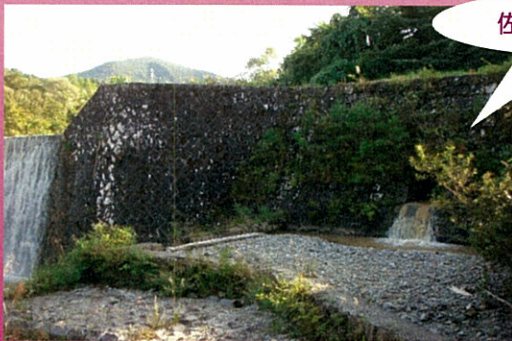


大正14年 完成当時

大正10年に着手され、14年に完成しました。長さ74.4m、高さ8.7mの堰堤です。完成後、補強や補修工事が数回行われています。昭和28年に現在の形(副副堰堤を除く)になりました。完成当初とは袖部と水通しの石の積み方が違います。平成8年に副副堰堤(最下流の堰堤)が整備されました。

水通し・谷積み

袖部・布積み



佐原用水取水口

左岸袖部に佐原用水の取水口があり、今も下流の田んぼを潤しています。

堰堤の左右岸には散策路もあるためアクセスしやすく、各種ウォーキング大会やクロスカントリーのコースになっています。

次回からは、今年7月に登録された荒川・東鴉川・塩の川の砂防施設をご紹介します。

～佐原用水の恵みを受けた植物たち～



トリカブト
言わずと知れた毒草です。こんなに綺麗な花なのに... 食べちゃダメです。見るだけ！



ウバユリ(の葉)
花が咲くのは8月頃。どんな花が咲くのかは来年までのお楽しみ。



マユミ(の種子)
赤い果皮が割れて赤い種子が現れています。かわいらしいですが、毒性があります。

荒井小4年生が荒川遊砂地を見学

10月10日(金)秋晴れの中、荒川遊砂地と地蔵原堰堤にて荒井小学校の4年生48名が見学を行いました。実際に現地を見学し、遊砂地の広さや堰堤の大きさを体感しました。また、大暗渠砂防堰堤の機能と効果や通常時の荒川を前に通常時と洪水時では川の流れが急激に変わることなどの、川に関する多くのことを学びました。



荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤を前に遊砂地や川に関する事を勉強中です。



皆さん♪こんにちは！カワニナです。皆さんに見られて恥ずかしいなあ...

これがカワニナだよ♪カワニナは蛍の幼虫がエサとしているので、遊砂地にも蛍が生息しているかもしれないね。



川の流れは通常時と洪水時で急激に変わるんだよ。



地蔵原堰堤に到着～♪地蔵原堰堤の眺めはどうかなあ..

QUIZ "これ"ってななんだ? 回答編

No16の答えは...スリット(切り欠き)です。

通常時は川の水の流れや川に生きる生物の行動を阻害しません。土石流発生時は、土砂は大量には通過できないので、下流の土砂災害を防ぐ役割をします。



水が流れています

土石が溜まっています

お問い合わせはこちら (ご意見・ご感想・砂防に関すること)

〒960-2156
 福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
 国土交通省 福島河川国道事務所
 荒川砂防出張所
 フロムあらかわ編集委員会
 TEL 024-593-0831(代表)
 H P <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp>

